

～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～

# 働く仲間のゆめ・みらい基金



ろうきん



こくみん共済  
coop



連合沖縄



沖縄県労福協



## 基金レポート2023

職場・ご家庭へ

本書は、沖縄の「子どもの貧困」の解決に向けて立ち上がった本気の大人たちの活動記録です。



ゆめ・みらい基金  
専用ホームページを開設しました!

ゆめ・みらい基金

検索



## CONTENTS

- ◆関係団体からのメッセージ ..... P1
- ◆「働く仲間のゆめ・みらい基金」とは ..... P2~3
- ◆基金活用による支援取り組み事例 ..... P4~5
- ◆基金によせられた声 ..... P6~7
- ◆組織的支援機関向けアンケートより皆さまからの声 ..... P8~9
- ◆さまざまなアプローチによる支援取り組み ..... P10~11
- ◆2022年度 収支報告 ..... P12~13
- ◆労働者福祉事業をつうじた社会貢献 ..... P14~15
- ◆広がる支援活動の輪 ..... P16~17
- ◆マルイチゴウマル〈0150ゆめ・みらい運動!〉について ..... P19

## 感謝をこめて



公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会  
理事長 仲宗根 哲

本基金へご協力いただいている皆様、物価高の中、子どもたちのための心温まるご寄付を頂き心より感謝申し上げます。一生懸命働いても生活が厳しい、働きたくても病気がケガ、精神疾患等で働けない、子どもに十分なご飯を食べさせてあげられない、そういった家庭が多くあります。当協会では、生活困窮者自立支援事業等を通して、多くの課題を抱えている方々に寄り添い、支援を続けています。本基金の事務局としても、子どもたちが元気を取り戻していく姿を多く見てきました。ひとつの機関だけでは対応できないことも、多くの機関や皆様と繋がり、共に取り組むことで、眼鏡が買えた、部活の遠征に行けた、資格が取得できた、進学できた等、皆様の想いは子どもたちの笑顔へ繋がっています。この基金への感謝から、将来自分たちも誰かの役に立ちたいと話してくれる子どもたち。沖縄県労協は、現在厳しい立場にある子どもたちの明るい未来のため、貧困や排除のない共生福祉社会の実現に向けて今後も取り組んでまいります。



こくみん共済 coop(全労済) 沖縄推進本部  
本部長 砂川 安弘

こくみん共済 coop沖縄推進本部では、組合員・協力団体・労働組合組織・協同組合組織などの仲間とともに、共済の普及と社会問題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」をすすめてきました。

2022年度は創立50周年チャリティゴルフや各地区推進委員会主催のイベントで組合員への基金活動や新規契約に対する寄付の取り組みを継続し寄付金額を増やすことができました。

また、こくみん共済coop指定整備工場の取り組みについても、2018年度からこくみん共済 coopの組合員が車検入庫した台数に応じて、全工場で基金へ寄付する取り組みを継続しており、2022年度は車検入庫は5,000台を超える実績となりました。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、社会課題解決と連動した取り組みとして、子どもの交通防止に向けた「7才の交通安全プロジェクト」や、子どもたちの成長を支える「こどもの成長応援プロジェクト」とともに、「ゆめ・みらい基金」についても引き続き取り組んでまいります。沖縄の子ども達が「夢」や「希望」を持てる生活ができ、子ども達の未来が明るく輝いたものになることを目指して、「たすけあいの輪」をさらに広めていき、「ゆめ・みらい基金」を継続的に取り組んでまいります。

2023年度は中期経営政策の2年目の年となります。掲げた目標の達成をめざすとともに、「お役立ち発想」と「共創活動」にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」のさらなる発展に向けて、すべての組合員との深く・長い関係づくりをめざし、「お役立ち」と「共創」活動を通じて組合員一人ひとりに寄り添った事業と運動を展開してまいります。沖縄推進本部は2023年10月に那覇市古波蔵に移転します。今後とも変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願いいたします。



日本労働組合総連合会 沖縄県連合会(連合沖縄)  
会長 仲宗根 哲

連合沖縄は、「働く人を軸とする安心社会」の実現を求め、あらゆる政策や制度要求をはじめ、幅広い運動に取り組んでいます。

現在、世界的な紛争等を背景とする物流の停滞や物資の確保が困難な状況から物価指数の上昇が続き、そこに賃金の上昇率が追いつかず最低賃金も全国最下位のままで、生活さえままならない家庭も増えています。

さらに、3年間、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、社会生活や日常生活そのものを破壊し、働く環境や雇用の実態にも負の影響をもたらしました。

働く場所を失い、収入を得られない状態が続く、「親の貧困」が「子の貧困」に直結する家庭も多くみられ、子どもたちが夢をあきらめなければならない深刻な状況です。

連合は、すべての働く人の雇用と暮らしを守り、子どもたちの夢と未来を応援する立場から、「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめみらい基金」を社会貢献活動の重要な柱と位置づけ、活動を支え共助支援の輪を広げていきます。

引き続き、連合沖縄に集う仲間とともに、誰一人取り残さない社会の実現に向け取り組んでいきたいと思っております。



沖縄県労働金庫  
理事長 東盛 政行

沖縄県労働金庫では、「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」において、県内労働組合を中心とした働く仲間の皆様のご理解とご協力のもと、基金の安定運営に向け取り組みを進めてまいりました。

「0150ゆめ・みらい運動!」では、1口50円から始められる社会貢献活動として窓口や地区推進委員会など様々な場面でご提案させていただき、多くの皆さまにご賛同・ご参加いただいております。

また、当金庫の社会貢献寄付商品をお客さまにご利用いただくことで1件当たり200円を当金庫が寄付する取り組みについては、2016年度から累計8,835,200円を寄付しております。

運動の結集・結実として、基金創設(2016年度～2022年度)からの寄付金額は、79,582,668円、支援件数・金額は994件・52,387,761円となっております。支援の現場では自助と公助の隙間を埋める大きな力・重要な選択肢となっており、相談者にとっては夢を諦めないという希望へと繋がっています。

会員団体の皆さまにおかれましても、「ゆめ・みらい基金」の継続的な取り組みにご賛同いただき、多大なご支援・ご寄付をいただいております。心から感謝と敬意を表します。

今回の基金レポート表紙は、支えていただいている働く仲間の「顔」がより見えるようなデザインとなっております。

これからも沖縄県労働金庫は福祉金融機関として、働く仲間の皆さまと共に社会貢献活動としての一環である「ゆめ・みらい基金」のさらなる労働者自主福祉運動の強化・結集をめざして取り組んでいきます。



# 沖縄の子どもたちの 「ゆめ」と「みらい」へ



## 子どもたちにとっては、自分を好きと言える環境が必要

### 子どもたちの、今

沖縄県が公表した「令和4年度 沖縄子ども調査 高校生調査」では、世帯の経済的な格差が高校生たちの学びや生活の質に影響していることが明らかになっています。「学校を楽しく感じる」割合や授業理解の程度については、低所得層ほど厳しい状況が見られます。また、部活動に関しても、「部費や部活動に費用がかかるから」、「アルバイトをしているから」という経済的な理由から、低所得層の高校生ほど参加できていないことがわかりました。

また、調査の自由記述においては、非課税世帯の対象から外れた世帯等、制度のはざままで困窮する世帯への支援を求める声もあり、子育て世帯全体の生活を改善するような支援が必要になると考察されています。

### 働く仲間の、今

沖縄県の「子どもの貧困」の背景にある特徴は、「高い非正規雇用率」、「長時間労働」、「低賃金」など、労働者を取り巻く厳しい現実があります。「子どもの貧困」の解消には、労働世代である「親」の経済・生活基盤を安定させるための、「働くにつながる」、「収入向上」などの支援が必要であることや個人が抱えるさまざまな困難に寄り添い解きほぐすためには、それぞれに合わせた伴走型支援の取り組みが必要です。

### 「働く仲間のゆめ・みらい基金」とは？ ～子どもたちが「ゆめ」をあきらめない社会へ～

「子どもは私たちの、ゆめ・みらい」を合言葉に、次世代を担う子どもの“夢と未来を創造”することを目的に立ち上がった基金です。

(公財)沖縄県労福協、連合沖縄、こくみん共済coop(全労済)指定整備工場沖縄県協議会、こくみん共済coop、ろうきんは、「働く仲間のゆめ・みらい基金」を通して、会員・協力団体、そして県内の各労働団体と共に、「貧困の連鎖」を断ち、子どもたちの夢と未来を支えるための取り組みを協働で取り組んでいます。

## 基金による支援の柱

「子どもの貧困＝親の貧困」の改善、解決に向け、以下の「働く」につなげる支援に取り組んでいます。

養育する子がいる世帯の親などへの  
就学・就労支援および生活支援等

親(世帯)の収入の安定化へ

職業資格取得等にチャレンジする就学生  
(職業高校等の高校生)への支援

資格を持つことによる  
希望職種(夢)への就職支援

若者への自立支援

社会に羽ばたく際の公的支援が  
及ばない部分のサポートなど

### 基金の用途

移動手段確保支援、通信手段確保支援、資格取得支援、就職活動支援、就労開始・初期支援、生活安定化支援、子育てと仕事の両立支援、子ども・若者への支援、学業継続支援、高等学校における資格受験費用の支援など

## ゆめ・みらい基金を利用するには？

### ◆申請方法について

ご本人と組織的支援機関からの共同での申請となります。  
※ご本人からの直接申請は受け付けておりません。

#### 組織的支援機関

市町村社会福祉協議会、生活困窮者自立支援機関など  
本来業務として、継続的な就職・生活支援をしている組織

—「ゆめ・みらい基金」申請方法の特徴—



本人(親=世帯)と支援機関・員の共同申請＝“サポート付き”の給付

### 対象について

養育する子どもがいる世帯、自立に向けたサポートを必要とする若者等

### 応募資格について

- 公的制度・サービス・その他の社会資源などの支援がないことを原則としますが、公的支援がある場合でもそれだけでは不十分な場合についても支援します。
- 組織的支援機関と対象世帯は、基金による支援の効果が得られるまでの間、継続的な支援・関わりを前提とします。本人への支給・給付についても支援者を通じて行います。

### 助成額について

上限10万円以内 2023年度支援予算額:1,442万円

## 一人でも多くの方へ必要とする支援をお届けするため、支援拡充しました！

### 支援予算の拡充

#### ◆単年度予算引き上げ

2020年度	800万円
2021年度	1,000万円
2022年度	1,200万円
2023年度	1,442万円

#### ◆1件あたりの申請金額の引き上げ

上限6万円以内 → 上限10万円以内  
※そのうち、高等学校における資格取得受験費用の支援  
上限3万円以内 → 上限5万円以内

## ゆめ・みらい基金 専用ホームページ 開設しました！



相談者  
(支援を受けたい方)



申請者  
(支援機関)



寄付者  
(個人・団体)



### トピック一例

- お知らせ／活動報告
- 私たちの取り組み/事例
- 支援を受けたい方へ
- 0150 ゆめ・みらい運動
  - ↳ 定額自動寄付申込書
- 基金収支報告
- 支援機関の方
  - ↳ 申請書ダウンロード
- Q&A
- 寄付をご検討の方
- お問い合わせ

ゆめ・みらい基金

検索



# 基金活用による支援取り組み事例

## 事例1 生活安定化支援

給与減により不足した生活費分

### 申請時の状況

- 本人、子ども3人の4人世帯。
- 本人は離婚後、姉家族の自宅で生活していたが、姉家族からも転居を促され母子寮へ入寮。
- 入寮後、就労支援を受け就職し増収することができ、安定した収入を得て貯金もできるようになった。
- 母子寮からアパートへ転居し新たな生活をスタートした矢先、病気が判明、急遽手術を行う。
- 手術は無事に成功したが、入院費は医療費控除にならず、貯蓄を切り崩して支払った。
- 通院や入院、コロナウィルスの影響による欠勤で収入は減少。生活費や医療費の支払いで貯蓄は底を尽き、一気に家計が圧迫した。
- 退院後は職場へ復帰することができているが、給与減があった月の生活費不足分に充てることで生活の立て直しが見込めるため申請したい。

### その後

- 本人の体調も回復し、現在も就労を継続できているとのこと。
- 支援者からも本人の笑顔を見ることができ、本当に嬉しい気持ちでいっぱいだとコメントがあった。

## 事例2 生活安定化支援・子どもへの支援

長男通信制高校編入試験受験費、家賃、生活費不足分

### 申請時の状況

- 本人、子ども3人の4人世帯。
- 本人の就労収入、児童手当、児童扶養手当で生計を立てている。
- 元夫の債務の保証人になっていたため、その返済に加え、本人の持病の通院費の支払いで困窮している。
- 家賃と駐車場代を滞納中。公共料金も常に数ヵ月遅れている。
- 長男は、高校休学中で通信制の高校へ編入を希望。編入後の学費については、社会福祉協議会へ貸付の相談を行っているが、編入試験受験費については貸付の対象外となっている。
- 公的資源だけでは家賃の滞納が解消されない状況。家賃を全額支払うことができない場合は、住居を失うおそれが生じる。
- 本基金を活用し、家計改善支援をあわせて行うことで生活の安定が見込まれるため申請したい。

### その後

- 長男は無事通信制高校へ編入することができ、夢に向かって頑張っているとのこと。
- 本人からも苦しい時に助けて頂き感謝している。持病も良い方向へ向かい、これからは社会貢献できるよう頑張っていきたいとのメッセージが届いた。

## 事例3 就職活動支援・生活安定化支援

滞納している携帯電話料金・子の入学にかかる費用

### 申請時の状況

- 本人(未婚)、子ども2人の3人世帯。
- 本人の給与、児童手当等で生計を立てていたが、コロナの影響で収入が減少。社協の特例貸付で生活の立て直しを図る。
- その後、人間関係のトラブルで離職。収入が減り家賃を滞納、退去命令が出たため支援機関へ相談し、滞納分家賃の支払いを行った。
- 家賃以外にも本人の携帯電話料金の滞納により携帯が繋がらず就職活動に影響が出ている。
- また、長男の中学入学にかかる費用も就学援助が利用できず工面出来ていない状況。
- 本基金を活用し携帯電話滞納分と子の入学費用に充てることで、本人の早期再就職の一助になることが期待できる。また、今後の家賃や生活費については公的資源を活用し生活の安定が見込まれるため申請したい。

### その後

- 子どもは無事入学し、通学できているとのこと。
- 「皆様方に支援していただいたことをムダにせず、今度は応援する側になりたい」とメッセージが届いた。

## 事例4 子どもへの支援

### 子の入学準備用品に伴う生活支援

#### 申請時の状況

- 本人、夫、子ども2人の4人世帯。
- 夫の給与と児童手当で生計を立てているが厳しい状況が続いている。
- 本人は生活困窮者自立支援金を活用し、仕事の内定を取得するが、子の卒業式やコロナの濃厚接触等の理由で出勤日を先延ばしにしたため、内定取り消しとなる。
- 子は高校への入学が決まったが、制服費用・校納金を工面できないとのことと入学をあきらめようと思っているとのこと。
- 今後、就労支援と家計を見直し、収支のバランスを整えることができるようサポートを行う。
- 社協の貸付では申請から給付までに時間を要し支払期日までに間に合わない。
- 本基金を入学費用に充てることで子が安心して新学期を迎えることができることから申請したい。

#### その後

- 高校入学を諦めていたが、無事に高校へ進学することができた。
- 生活の安定だけでなく、本人の就労意欲を引き出すきっかけとなった。

## 事例5 移手段・生活安定化支援

### 学業・就労継続及び移手段支援

#### 申請時の状況

- 母、本人、兄弟2人の4人で生活していたが、中学生の時に母が再婚し、義父と折り合いがつかず家出。現在はパートナーの実家で生活している。
- 支援開始当初は心身ともに不安定になっているとの相談があった。
- 支援員のサポートもあり、徐々にメンタルダウンも落ち着きアルバイトの開始、自動車学校への入学、通信高校の学業への取組と一つ一つ課題をこなしてきた。
- 生活費、学費、自動車学校費用を貯めるためにアルバイトの掛け持ちをしていたが、生活リズムが崩れたことで過労で体調不良となり、アルバイトを一カ所に絞った。
- 収入が減ったため、自練の費用(一部)を工面することができず通学できない状況。
- 本基金を活用することで運転免許の取得が可能となり、支援機関が連携してサポートを行っていくことで本人の経済的・精神的負担が軽減され、卒業後の仕事の幅の広がり、自立が見込まれるため申請したい。

#### その後

- 予定通り自動車学校へ通うことができ、免許取得に向けて頑張っている。
- 支援機関や支援担当者との信頼関係も築くことができ、大人への不信感を軽減することができた。

## 事例6 就学と子育ての両立

### スクーリング時の一時預かり支援

#### 申請時の状況

- 本人、子ども、母、本人の兄弟2人の5人世帯。
- 本人は子どもを出産後、普通高校から通信制高校へ編入。
- パートナーとは別れた後から連絡をとっておらず、支援も受けていない。
- 卒業後は美容師として働きたいと夢を抱いている。
- 資格を取得するため専門学校へ進学したいと考えているが、進学資金に不安を感じている。
- 必要に応じて就職情報提供機関を案内し、進学や就職に向けた支援を行っている状況。
- 高卒資格を取得することで今後の就職活動において職業選択の幅を広げることに繋げたい。

#### その後

- 現在通信制課程であり、順調に単位取得に励んでいる。

## 事例7 職業高校・資格試験

### 高教組との連携

#### 申請時の状況

- 本人、両親、姉の4人世帯。
- 両親ともに働いているが、母親の仕事がコロナの影響を受け収入が減少し家計への負担が増加。
- 本人は学習意欲が高く積極的な姿勢が見られる。
- 家計的な余裕がないため、受験料は本人のアルバイト代から捻出している。
- 希望する会社へ就職するために必要な資格の取得に向けて取り組んでいるが、受験料が5万円と高額で費用を捻出することが難しい。
- 本基金にて支援することで、目標を持った学校生活を送り、就職活動への自信に繋げたい。

#### 先生方からの声

- 本人より「資格試験に合格し、希望の会社への就職が決まった。」と喜びの声が届いた。

# 基金によせられた声

## 病気と向き合いながら生計を維持する世帯への支援

### 【支援を受けた方から】



私は、4歳と5歳になる年子の母です。子供達と過ごす時間を作りたいた、去年、サービス業から医療従事者の道へ転職し、前職より収入を増やし、念願であった引越しに生活安定と、徐々に目標達成と希望に満ち溢れた矢先、子供達が4週間連続でコロナ濃厚接触にあり保育園休園。母である私は仕事へ行けず収入減少。それと同時に、私の病気がみつき、入院、手術。

本当に本当に、これからの子供達の生活を考えるだけで胸が苦しく頭がいっぱいでした。

「何で私が... 何で私達の子供が...」等、考えても進まない事ばかりで、自分を責めて涙を流している日もありました。

「何で全部が今なの？」と色々投げ出したくなる日もありましたが、「ゆめ・みらい基金」のおかげで今、子供達と



笑顔が絶えない生活を送る事が出来ています。

本当に感謝しかありません。有り難うございました。人生は山あり谷ありと一人では生きていけない、頼る事も大切。だからと実感した経験でした。

今はまだ支える側の力はありませんが、絶対に恩返しができるよう、日々仕事に育児と頑張っています。

「ゆめ・みらい基金」がなかったらと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。苦労して誰かの為と協力して下さっている方成りいる事を考えると1日でも早く私もその1人として活躍出来るよう、出来る事から少しずつ始めていこうと思います。本当に今回は、私達家族に笑顔と幸せを有り難うございました😊♡



## 困難を抱える世帯への支援

### 【支援を受けた方から】



ゆめ・みらい基金の給付、ありがとうございます。給料が未払いになり、家賃・電気・ガス等支払いに困っていましたが、ゆめ・みらい基金のおかげで、支払いが済むことができました。

小さい子供も二人いて、不都合が体感していましたが、とても助かりました。

その後、転職がふじにでき、妻の収入も増え、安定してきました。

この頃の生活費等もきびしかったので、ゆめ・みらい基金のおかげでとても助かりました。本当にありがとうございます。



### 【支援機関から】



この度は、ゆめ・みらい基金の支給を決定して頂きありがとうございました。

相談者の方は、家賃含む生活費全般の支払いが滞っており、相談者や家族にとって強い不安を感じる日々を過ごしていました。

相談者の就職決定、配偶者の自営業による増収などが見られるものの、収入が得られるまでのタイムラグがあり、とても厳しい状況でした。

相談者は当初、「自分が頑張るしかない。誰も助けられない。自分ばかり負担がかかる」など追い詰められている様子でしたが、ゆめ・みらい基金の利用が決まり、誰かに助けられる・孤立していない事を再確認し、私たち支援員の声掛けにもこたえてくれるようになりました。その意味では支援を円滑に進める上でもとても重要だと感じました。

今回のゆめ・みらい基金の利用を通し、生活基盤を固める事が出来、相談者の就労安定・配偶者の精神安定・子どもたちにとって生活に不足のない状況に繋がった事はとても有意義だと感じています。

今、困っている事に【早く・丁寧に・寄り添って】対応して頂けるゆめ・みらい基金に対し、相談者のみならず支援員としても深く感謝申し上げます。



## 母子世帯への支援

### 【支援を受けた方から】



「らくきん・こくみん共済coop働く仲間のゆめ・みらい基金」の給付を決定 支援していただき 心よりお礼申し上げます。夢に向かって頑張っている子どもを応援しサポートしてきていただき、いろいろと出費が重なり、学校で必要なものを購入してあげることができず 途方に暮れていました。相談を受けまくれた相談員さんの親切で優しく丁寧な対応に ひびきかかっていっしょにも救われ希望が持てることになり、あらたに親として頑張ろうという気持ちになりました。おかげさまで、学校で必要なものを揃えてあげることができ、子どもも大変喜んでいます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ゆめ・みらい基金に携わる、すべての方々と話しをつないでくれた 職員様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



### 【支援機関から】



この度は、ゆめ・みらい基金の決定ありがとうございます。相談者は何とか子供の夢を叶えてあげたいという思いが、働きながら一生懸命節約し頑張っていました。お子さんも、まだ中学生にも関わらず家計のことを考え、学校で必要となる制服や道具の購入を我慢していました。色々な所に相談したが利用できる制度がなく落込んでいた中で、ゆめ・みらい基金が決定し、とても喜んでいました。また、私たち支援員も夢を応援することの素晴らしさを肌で感じることで、元気をもらいました。今後は、就労、家計の支援を行いながら、自立に向けて一緒に取り組んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。



## 職業資格取得にチャレンジする高校生への支援

### 【支援を受けた高校生から】



ゆめ・みらい基金での給付ありがとうございます。おかげで、3級ガソリン自動車整備士の講習を受けることができています。アルバイトや家庭環境の事もあり、日々の支出に追われ、講習を受ける為のお金を貯める事が厳しく、頭をかかえていた中、ゆめ・みらい基金の方々から給付を受け事ができ、とても感謝の気持ちでいっぱいです。ゆめ・みらい基金を運営している方々の支援と期待をまたにしないよう、3級ガソリン自動車整備士の資格を習得し、社会に貢献できるように頑張りたいと思います。



### 【支援を受けた高校生から】



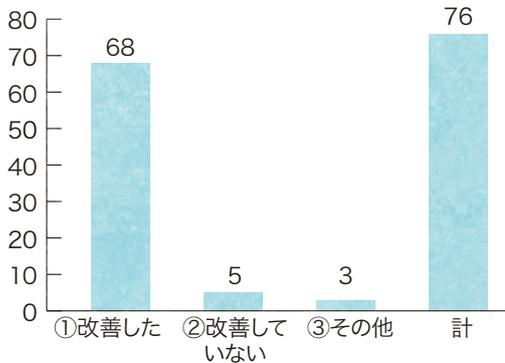
今回 ゆめみらい基金の給付を頂き 本当にありがとうございました。私は現在農業高校に通っており、農業高校は取る資格がとて多いいのですが、私の家はあまり裕福ではなく、蓄積があまり資格取得を断念しておりました。しかし先生にゆめみらい基金があると言われ、念願の資格取得をすることができました。はじめに資格を取ったときとても嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいでした。こうして資格を取ることができたのも、ゆめみらい基金のおかげです。これから社会に出て、恩返しができるように精進していきたいと思っています。



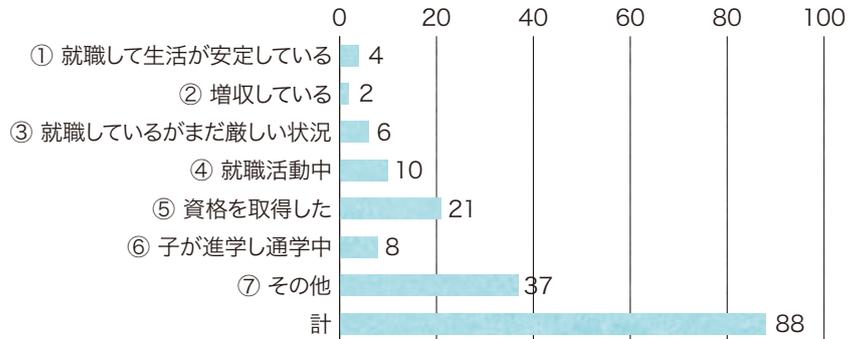
# 「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」組織的支援機関向けアンケートより皆様からの声(一部抜粋) ※原文のまま掲載

※組織的支援機関とは、本来業務として継続的な就職・生活支援をしている機関・組織です。基金の利用は相談者の自立まで支援を行うことを前提に、組織的支援機関との共同申請が必要です。

## 1 活用前後で自立に向けて改善しましたか?



## 2 改善したと回答した方へどのような状況でしょうか?(複数回答可)



### 質問2にて【⑦その他】と回答した方たちの状況 ※一部抜粋

#### 【子どもの学校・進学について】

- ◆ 中学入学に必要な制服や学用品など準備し整えることができ、無事入学式を迎えることができました。入学後、新しい環境に慣れるのに時間が必要な様子です。学校へ行くことに対して(人の目が気になる)緊張や不安な気持ちが強くあり、現在は無理せず焦らず徐々に慣らしていくようお子さんのペースで通学をしています。入学当初は週1~2回の登校であったが今は週2~3日は行けるようになっている。
- ◆ ゆめ・みらい基金の給付により、学校の在籍は継続できた。
- ◆ 家計の収支状況を聴き取る際に、お子さんが現在中学3年生で高校進学を控えているが経済的に厳しい為、塾を辞めさせざるを得なかったことが分かった。無料塾を案内すると利用を希望されたので子育て支援員に繋げ、これから審査の段階と確認した。また、生活困窮者自立支援金を申請された。

#### 【資格取得・検定合格に向けて意欲的になった】

- ◆ 資格取得に向け勉強に取り組む様子が見られ、卒業後の進路について前向きに相談するようになった。
- ◆ ゆめ・みらい基金による経済的支援のおかげで、生徒達も意欲的に資格試験へ取り組む様子が見られた。
- ◆ 母子家庭やコロナ禍での状況で経済的な負担は見受けられるが、アルバイトを行う生徒もおり、金銭的な改善も見られる。また、補助を受けたことで検定を受験することに対し生徒の気持ちの変化がみられ、意欲的に取り組んでいた。

#### 【生活の安定につながった】

- ◆ 家賃や光熱水費等の滞納がみられたが、現在は滞納がなくなり、収入の範囲内でやりくりができるようになってきている。
- ◆ 本人の体調が優れないため、現在は単発の派遣の仕事を通3日程行っている。今は体調を崩さないよう無理をしない範囲で働きたいと希望されている。出費を抑えることができ世帯状況は改善された。

### ゆめ・みらい基金を活用した当事者の声 ※アンケートより一部抜粋

#### 【職業高校・資格試験】

- ◆ 金銭面の不安もなくなり、資格取得に向けて意欲的になり学習に集中できている。
- ◆ 3級技能検定の検定受験料が急に昨年の4倍(3,100円→12,100円)と高額となり、経済的にあきらめかけていたところ、ゆめ・みらい基金を活用して受験することができました。感謝しています。
- ◆ 資格取得するための勉強や実技は難しかったけど、資格を取得することができて嬉しかったし、少し自信もできました。自分のこれからの進路について考えるきっかけにもなりました。

- ◆ 基金のおかげで資格取得ができ、希望する会社に入ることができた。

#### 【子の入学準備】

- ◆ 子どもの中学入学にかかる費用が工面できず困っていましたが、ゆめ・みらい基金を利用でき、助かりました。
- ◆ 子の中学入学に際し、出費や支払いが増え不安な日々を過ごしていたが、ゆめ・みらい基金を利用させていただいたことで新生活を迎える娘を他の生徒と同じスタートライン立たせてあげる準備ができたことにとっても感謝しています。

- ◆今回急なお願いだったにもかかわらず、みなさんの素早い対応のおかげで無事に制服も購入できて、娘もとてもいい表情で学校生活を送ることができています。

### 【不安の軽減】

- ◆就職に向けて面接の日程を調整してもガソリン代もなく面接へ行けない状況でした。ゆめ・みらい基金の支援があり、無事面接もでき採用になり安心しました。
- ◆基金申請前はいつライフラインが止められるか不安であったが、現在は完済でき、不安がなくなった。
- ◆生活が苦しくなり、社協などから借り入れもした。これ以上の借金はしたくないが、自分自身だけで解決できるか不安で押しつぶされそうだった。本当に有難いです。と話していました。

- ◆住居の退去命令が出る直前だったため、ゆめ・みらい基金を活用し家賃滞納分、約2ヶ月分を支払っていただいぶ助かったと話していた。

### 【今後は出来ることを少しでも返したい】

- ◆「自分が頑張ることがこのように協力して下さる方々への恩返しになると思うので、引き続き頑張っていきたい」と話していました。
- ◆誰にも相談できず一人で抱え込み、一番必要な時に支援してもらったことがとても嬉しかった。貸付相談時に今後の術も見つからないまま、誰も助けてくれない状況に怒りもこみ上げたが、社協以外の民間助成である「ゆめ・みらい基金」の紹介を受け希望の光が見え救われた思いです。今後は私が出来ることを少しでもお返ししていきたい。

## 📎 ゆめ・みらい基金を活用して、支援機関としての意見や感じたことをご記入ください

### 【公共サービスとは異なった利用しやすさがある】

- ◆活用者は、既に生活福祉資金を活用し、金融機関からの借入も困難な状況であり、他に支援策が無く精神的にも不安定な状況でした。ゆめ・みらい基金を最後の砦として活用できたことで不安を払拭し安心した生活につながりました。ゆめ・みらい基金が支援の最後の砦として多くの世帯の生活の安定につながるのだと、基金の必要性和重要性を強く感じました。深く感謝いたします。ありがとうございました。
- ◆制度の枠から外れ困窮している中で給付の有効性を感じた。
- ◆ゆめ・みらい基金は、当事業所では「最後の砦」と呼んでいます。給付金や貸付等、出来る限り、申請や情報提供を行い、そのうえで、貸付もこれ以上厳しい、次の諸手当まで家計が乗り切れない等の緊急性に対応してもらえるのが「ゆめ・みらい基金」です。本当に助けてもらっています。
- ◆生活福祉資金や母子父子寡婦福祉資金等の貸付制度は利用できない状況で、貴基金の給付により修学旅行に行く事ができ、申請者にも喜んでいました。貴基金に頼るだけでなく、このような現制度の瑕疵について声に上げ、困窮世帯の子を取り残してしまわないよう社会的に支援し既存の制度を充実させる必要がある。
- ◆制度の狭間で制度が利用できなかった相談者をゆめ・みらい基金で救い上げることができ、とても助かりました。また、給付までの対応の早さにも感動いたしました。

### 【相談者の気持ちが変わった】

- ◆収入が滞り、不安に押しつぶされ、どうしたらよいか考える気力すら無いように見えた利用者さんでしたが、基金活用後は、表情が明るくなり、生活の安定のため自分で積極的に行動できるようになりました。
- ◆子どもの進学や費用は、家計の中で大きな支出を占める

ので、その部分が何割かでも軽くなると経済的にも心理的にも負担が軽くなって、その家庭全体の流れが良い方向に変わっていく印象がある。

### 【生活の安定が就労に繋がった】

- ◆今回の場合は若年夫婦であり、相談当初は内縁の夫が緊急入院で退職を余儀なくされた直後であったため、生活費に不安がありました。また、生後8か月の赤ちゃんもいたため、相談者自身の仕事探しも思うようにできない状況でしたが、ゆめみらい基金や他制度の活用等もあり、とりあえずの生活費を確保することができ、無事に就労することができました。(ただし、体調不良等の理由により月末で退職というかたちになったため、今後改めて仕事探しを行う予定です。)

### 【職業高校・資格取得】

- ◆資格検定を希望する生徒が減ったのは金銭的な面も考えられる。この制度を活用し、生徒達へ資格取得に向け挑戦させることができます。
- ◆離島校は旅費がかかったり、宿泊費がかかったりと資格によっては勧めづらいこともありましたが、この制度を利用して何名かがその負担が少なくなり、合格に繋がりました。

### 【迅速な対応で助かった】

- ◆夫婦で就職活動中。小さなお子さんもいて所持金もわずかで家賃・光熱費も滞納し、どうにもならない状況で相談、申請、審査、支給まで迅速に対応していただきありがとうございました。
- ◆突発的な出費が重なりお困りでしたが、申請から丁寧で迅速な対応のお蔭で準備が整い保護者の方もとてもお喜びでした。本当にありがとうございました。

# さまざまなアプローチによる支援取り組み

ゆめ・みらい基金では個別の支援だけではなく、数多くの世帯・子ども達にアプローチするための取り組みを行っています。内容は、食糧品支援の他、「生理の貧困」解消に向けた支援、高等学校の資格試験受験費用値上げに向けた支援など多岐に渡りました。

## ❖ 食品・物品支援

長期化する新型コロナや物価高の影響など、食料や日用品を必要とする子どもたち（養育世帯）へ支援を行いました。必要な人へ必要なものをお届けするため、オーダーメイド型の配布内容の企画など、ニーズ、情勢に合わせた幅広い支援を実施しました。

開催時期	配布先	配布先	配布内容	支援額
8月～10月	食料・日用品支援	生活困窮者支援機関窓口5カ所	各機関、10万円を予算とし、世帯状況に応じたオーダーメイド型食料・日用品支援に活用	378,680円
9月	食料支援（第1弾）	生活困窮者支援機関窓口、母子支援機関等 ● 県内19機関 ● 離島2機関	● お米 ● レトルト食品 ● 生理用品 等の日用品も支援	737,908円
12月	食料支援（第2弾）	生活困窮者支援機関窓口、母子支援機関等 ● 県内19機関 ● 離島2機関	● お米	669,604円

### 支援機関から、ありがとうの声

- ★コロナの影響で困窮している世帯も少なくないため、大変喜んでいました。
- ★お母さん、お子さんたちの喜ぶ顔を見ることができ、職員一同感謝しております。
- ★オーダーメイド型の支援にて、世帯別の様々なニーズに素早く対応できたので大変助かりました。



## ❖ 「生理の貧困」解消に向けた協同取り組み

コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」という社会課題の解消に向けた一助として、公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会、沖縄県教職員組合（以下、「沖教組」）、沖縄県労働金庫との三者の協同で、「生理の貧困」解消に向けた取り組みを2022年6月から開始しました。

学校現場に専門性を有する沖教組と連携し、生理用品の入手に困難を抱える児童・生徒へ「吸水サニタリーショーツ」を無償配布することで、生理用品の調達頻度や、それに係る精神的負担、経済的負担の軽減につなげます。

### ① 取り組み趣旨

- ① コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」という社会課題に対し、会員団体等との協同で解消に向けた取り組みを行う。
- ② 一般的な生理用品（使い捨て）の配布は広がりつつある中で、「吸水サニタリーショーツ」という選択肢を組み合わせることで、生理用品の調達頻度やそれに係る精神的負担、経済的負担の軽減につなげる。
- ③ SDGsの観点からも使い捨て生理用品のゴミ排出削減の一助とし、環境へ配慮した取り組みとする



### ② 具体的な取り組み

- 【取組名称】 沖教組「吸水サニタリーショーツ」無償配布制度
- 【取組期間】 2023年6月1日（木）～ 2024年3月31日（日）
- 【配布対象】 主に経済的な理由で生理用品の購入が難しいと思われる児童・生徒  
※対象者の判断は養護教諭、またはスクールソーシャルワーカーが行います。
- 【配布商品】 ユニクロ製「吸水サニタリーショーツ」  
小学生向け 470枚、中学生向け 312枚 合計782枚  
※昨年度の在庫に加え、新たに小学生向け450枚、中学生向け180枚、合計630枚を購入しています。  
（総額929,880円分）

## ❖ 高等学校の資格試験受験に向けた支援

### 【課題】

- 技能検定（実技試験）の受験料の値上げ（例：3,100円→12,100円（4倍））
- 3万円を超える高額技能試験へチャレンジ（例：フォークリフト試験5万円）
- 離島地区における本島での受験の際の交通費（航空運賃）  
などの理由において、家庭の経済状況の事情などで受験を諦める生徒が増加

### 【具体的な取り組み】

現場の先生の声から支援を拡充しました！

- 職業高校限定→普通高校（職業学科、専門学科設置高校）に対象拡大
- 資格取得受験費用の支援を、1件あたりの上限3万円から5万円へ引き上げ
- 離島地区高校において、本島開催の資格試験に限り、航空運賃・宿泊費（上限3万円）の支援を新設

### 【2022年度「職業高校・資格試験」受験費用支援の実績】

- 給付金額 2,250,287円（前年度は416,521円）／前年比540%
- 申請件数 103件（前年度は37件）／前年比278%

### 【基金を活用した生徒からの声】

- 3級技能検定の検定受験料が急に昨年の4倍と高額となり、経済的に諦めかけていたところ、ゆめ・みらい基金を活用して受験することができました。感謝しています。

### 【基金を活用した学校の先生からの声】

- 離島校としては、会場へのアクセスで旅費が掛かったり、宿泊費がかかったりと、資格によっては勧めづらかったですが、基金を利用して負担が少なくなり、何名か合格に繋げる事ができました。本当にありがとうございました。

# ☆ 2022年度「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

## 基金の残高

### 【収入】

項目	金額	内容
前期繰越金	24,414,761円	
団体寄付金	4,963,408円	各労働組合様等
個人寄付金	5,671,450円	0150ゆめ・みらい運動(定額自動寄付)等
ろうきん社会貢献寄付商品抛出品	1,353,200円	
ろうきん わしたシマづくり運動	624,840円	
ろうきん 感謝祭寄付金	1,000,000円	
こくみん共済 coop 沖縄推進本部 社会貢献寄付商品抛出品	1,349,500円	
こくみん共済 coop 50周年キャンペーン寄付金	131,200円	
こくみん共済 coop 創立50周年記念イベントによる募金・寄付	132,978円	
こくみん共済 coop 指定整備工場沖縄県協議会	979,800円	各指定整備工場の車検入庫分
合計	40,621,137円	

### 【支出】

項目	金額	内容
(使途別)		
①移動手段	112,700円	3件
②通信手段	32,156円	1件
③資格取得	93,000円	1件
④就職活動支援	61,810円	1件
⑤就労開始・初期	0円	0件
⑥生活安定化	2,778,315円	34件
⑦子育てと仕事の両立	0円	0件
⑧子どもへの支援	2,556,658円	42件
⑨若者への自立支援	151,620円	2件
⑩就学と子育ての両立	1,617,900円	13件
⑪職業高校・資格試験	2,250,287円	103件
⑫その他	50,000円	1件
⑬移動手段(貸出)	22,400円	3件
⑭通信手段(貸出)	925,980円	9件
⑮パソコン貸出支援	1,013,096円	5件
⑯学習教材貸出支援	0円	6件
⑰コロナ・物価高による緊急食糧支援	1,786,192円	支援機関へ米・各種食料品・生理用品の配布、支援機関21カ所(宮古・石垣含む)9月～12月、生活困窮者支援機関5カ所8月～10月(10万円を予算とし、世帯状況に応じたオーダーメイド型物品支援)
小計	13,452,114円	①～⑰ 224件(193名)
(その他)		
消耗品費	0円	
通信運搬費・燃料交通費	25,750円	切手代
支払い手数料	8,415円	
会議費	16,000円	基金運営委員会
小計	50,165円	
合計	13,502,279円	

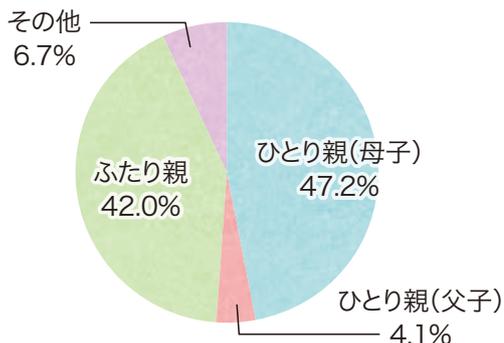
### 【収支計】

収入計	40,621,137円
支出計	13,502,279円
繰越金額	27,118,858円

### 【申請者地区別一覧】

地域	人数
南部	98人
中部	60人
北部	21人
宮古・八重山	14人
合計	193人

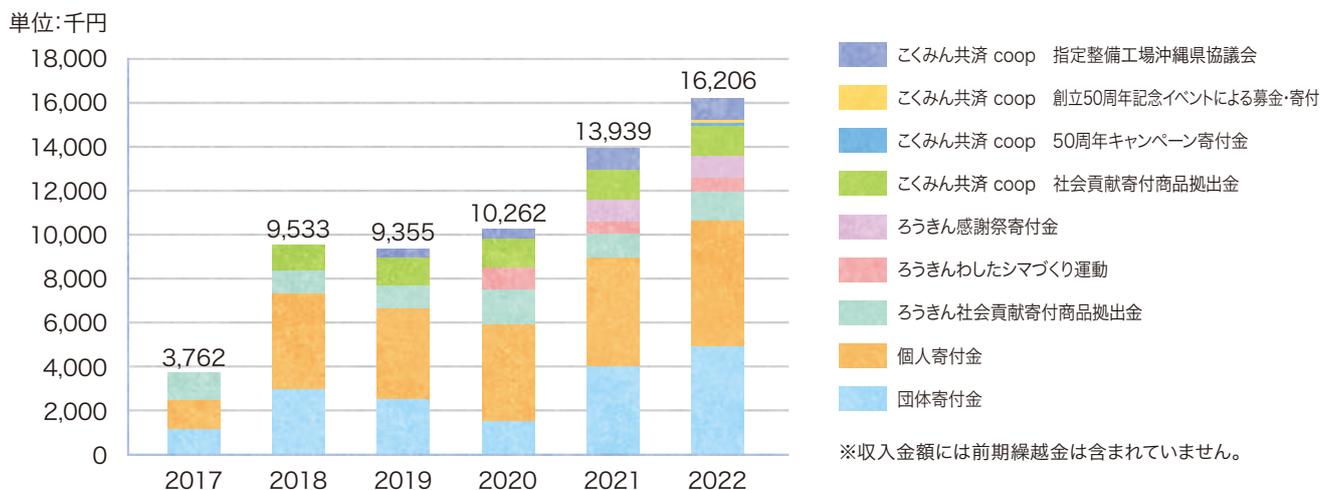
## 申請者世帯別割合



## 主な申請機関

- 1 生活困窮者自立支援事業(離島含む市町村)
- 2 高教組(各学校の先生方)
- 3 社会福祉協議会
- 4 母子生活支援施設
- 5 労福協自主事業
- 6 離島を含む各市町村窓口

## 収入の推移



寄付金額は年々増加しており、多くの方がゆめ・みらい基金に賛同していただいていることがわかります。事務局としては、ろうきん地区推進委員会等寄付団体へ、寄付金の活用事例報告を積極的に行いました。想いのこもった寄付金が生きたお金として活用されていると知ること、継続的な支援、新たな支援に繋がっていると考えています。

## 支出の推移



2022年度の支援の特徴として、職業高校・資格試験において、技能検定(実技試験)の資格試験費用の値上げに伴い、今まで以上に支援を必要とする生徒が増加しています。

生活安定化における支援としては、コロナウイルス等の影響による緊急的な申請・給付が落ち着いた一方、生活の立て直しや自立の見込みが厳しい困窮世帯が増えている現状も見られます。

# 労働者福祉事業をつうじた社会貢献

●本取り組みによる寄付金の贈呈については2023年9月以降に予定しております。

## ろうきんの取り組み

### ◆ 社会貢献寄付商品による基金の安定運営支援

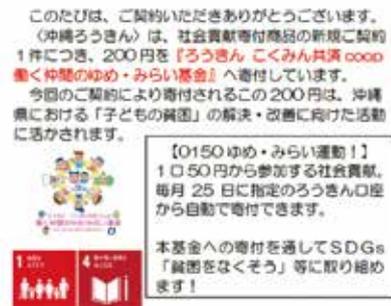
ろうきんでは、ご利用いただいたお客さまの笑顔が、同じ働く仲間や、その大切な人の笑顔につながるよう、社会貢献寄付商品を選定し基金の安定運営を支援しています。2022年度につきましては、下記の社会貢献寄付商品の新規取扱い1件につき200円を〈ろうきん〉が負担し、総額1,507,800円(7,539件)の寄付金を拠出します。2016年度からの累計で、8,835,200円の寄付金を拠出し、基金の安定運営を支援しています。

預金商品・ 私的年金制度商品	財形貯蓄、エース預金、iDeCo（イデコ※個人型確定拠出年金）
融資商品	教育ローン、福祉ローン、カードローン、自動車ローン

社会貢献寄付商品をご契約いただいたみなさまに対し、メッセージカード入りのポケットティッシュをお渡しし、感謝の意を伝える取り組みを行っています。

また、その際には「〈沖縄ろうきん〉」を利用することで、誰でも社会貢献活動に参画できることや1口50円から始められる定期自動寄付(0150ゆめ・みらい運動)について説明し、福祉金融機関として、さらなる支援の輪・共助の輪を広げてまいります。

#### （ご寄付への御礼）



### ◆ わしたシマづくり運動

沖縄ろうきんATM、または提携するイオン銀行ATMやセブン銀行のお取り扱い(お引き出し・ご入金取り引き1件につき2円)に応じて、寄付金額を積み立て、地域で活躍する非営利団体等や「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付することで、活動を支援しています。

2022年度実績 1,037,315件(非営利団体:1,300,000円、基金:774,630円)

## こくみん共済 coop 〈全労済〉 沖縄推進本部の取り組み

### ◆ 共済商品利用、こくみん共済 coop 〈全労済〉 指定整備工場と連携した安定運営支援

すべての共済商品(慶弔共済、自賠責共済を除く)の新規契約件数に対して1件あたり100円の寄付金を実施しており、2022年度の寄付金は1,353,400円となりました。

また、こくみん共済 coop 〈全労済〉 指定整備工場沖縄県協議会の各指定整備工場では、組合員の年間車検入庫台数に応じた寄付を行っております。2022年度は1台あたり200円、総額1,059,400円となりました。

※こくみん共済 coop 〈全労済〉 指定整備工場については、P15をご覧ください。

#### 対象商品例

こくみん共済	総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	住まいる共済	火災共済・自然災害共済
交通災害共済	団体生命共済	新団体年金共済

# 子どもたちに笑顔をひろげたい!

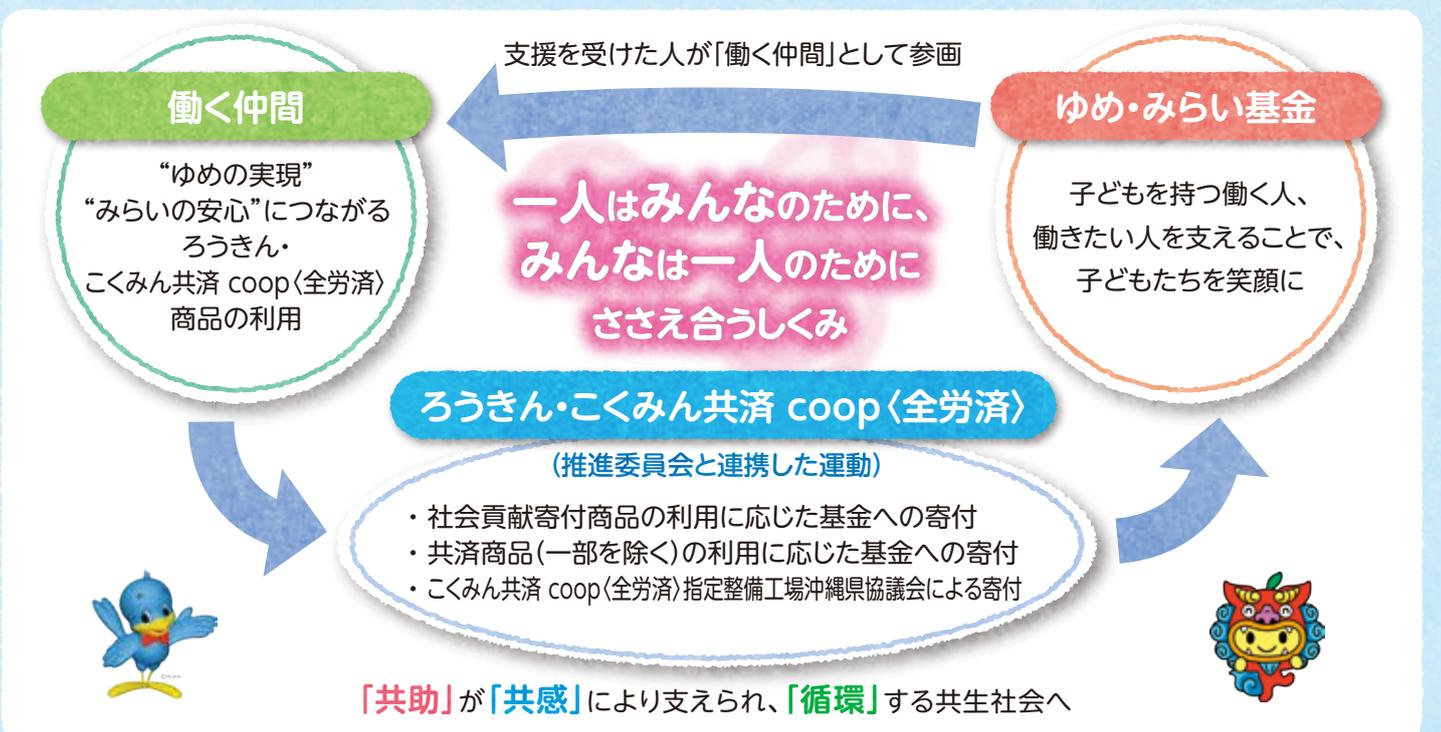
沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」は、車検入庫1台あたり200円を子どもたちの未来のために寄付します。



## 預けて安心、こくみん共済 coop〈全労済〉の指定整備工場ネットワーク

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <p><b>名護市</b><br/>(株)北部自動車工業<br/>(オートザム北部)<br/>〒905-0006 名護市宇茂佐1607<br/>☎ 0980-52-0393<br/>スーパーホテル信号を屋部向け500m左</p> <p><b>読谷村</b><br/>喜友名自動車サービス<br/>〒904-0322 読谷村波平1628<br/>☎ 098-958-4885<br/>タウンプラザかねひで読谷店信号をアリビラ向け100m右</p> <p><b>嘉手納町</b><br/>(有)ナカダ自動車商会<br/>〒904-0205 嘉手納町字兼久370-1<br/>☎ 098-956-4602<br/>ネーブルカデナ道向かい</p> <p><b>うるま市</b><br/>比嘉自動車整備工場<br/>〒904-2224 うるま市大田500<br/>☎ 098-973-5407<br/>うるま警察署ななめ向かい</p> <p><b>沖縄市</b><br/>宮平自動車整備工場<br/>〒904-0006 沖縄市八重島2-12-17<br/>☎ 098-937-9496<br/>市民会館近く、中部観光バス左隣</p> <p><b>北谷町</b><br/>ロータスゲイトワン整備工場<br/>〒904-0111 北谷町砂辺365<br/>☎ 098-936-2130<br/>第一ゲート前、センターサービス給油所隣</p> <p><b>北中城村</b><br/>照屋自動車整備工場<br/>〒901-2304 北中城村屋原226<br/>☎ 098-932-0147<br/>ライカム交差点から普天間向け150m左</p> | <p><b>宜野湾市</b><br/>長浜モーター(有)<br/>〒901-2205 宜野湾市赤道1-4-2<br/>☎ 098-892-3719<br/>宜野湾自動車学校から普天間神宮向け300m左</p> <p><b>西原町</b><br/>(同)當山自動車販売<br/>〒903-0129 中頭郡西原町千原58-1<br/>☎ 098-946-6468<br/>動物病院22時近く</p> <p><b>浦添市</b><br/>(株)東日産自動車 車検のコバック西原店<br/>〒903-0121 中頭郡西原町字間480-2<br/>☎ 098-917-1033<br/>ハートライフ病院近く</p> <p><b>那覇市</b><br/>(株)東日産自動車 車検のコバック浦添店<br/>〒901-2125 浦添市仲西1-7-1<br/>☎ 098-877-4003<br/>チャンピオンサー仲西第1ゲート向かい</p> <p><b>那覇市</b><br/>(株)ヒーロー<br/>〒901-2101 浦添市西原6-1-6<br/>☎ 098-878-4444<br/>和風亭浦西店ならび、浦西中道向かい</p> <p><b>那覇市</b><br/>人情くるまや 三和自動車(株)<br/>〒901-2101 浦添市西原1-3-3<br/>☎ 098-877-2107<br/>パークレーズコート道向かい</p> <p><b>那覇市</b><br/>(資)新興自動車商会<br/>〒900-0011 那覇市上之屋311<br/>☎ 098-868-2821<br/>エネオス天久店給油所隣</p> <p><b>那覇市</b><br/>(有)久茂地オートサービス<br/>〒900-0015 那覇市久茂地2-24-1<br/>☎ 098-861-7482<br/>ゆいレール美栄橋駅北口</p> | <p><b>与那原町</b><br/>(有)与那原自動車整備センター<br/>〒901-1302 与那原町上与那原493-1<br/>☎ 098-945-8181<br/>与那原警察署より那覇向け2つ目の信号を左へ100m</p> <p><b>南風原町</b><br/>(株)大橋自動車販売<br/>〒901-1104 南風原町宮平345-1<br/>☎ 098-888-2411<br/>イオン南風原店隣映画館道向かい</p> <p><b>南風原町</b><br/>(株)南風原整備センター<br/>〒901-1111 南風原町兼城526<br/>☎ 098-888-1111<br/>マックスバリュージュ橋店向かい</p> <p><b>豊見城市</b><br/>(株)禅自動車サービス<br/>〒901-1117 南風原町字津嘉山1162-1<br/>☎ 098-889-8810<br/>南風原高校隣</p> <p><b>八重瀬町</b><br/>海邦オートサービス<br/>〒901-0231 豊見城市字我那覇666番地<br/>☎ 098-987-1434<br/>県道256号線沿い高速名嘉地インター出入口近く</p> <p><b>南城市</b><br/>(株)ラッキー自動車商会<br/>〒901-0417 八重瀬町外間169-1<br/>☎ 098-998-8600<br/>南部徳洲会病院ならび</p> <p><b>南城市</b><br/>(有)愛地モーターズ<br/>〒901-0617 南城市玉城字愛地362-1<br/>☎ 098-949-7641<br/>稲嶺十字路を船越小学校向け1.5km先右</p> | <p><b>糸満市</b><br/>南部モーターズ<br/>〒901-0303 糸満市兼城339-1<br/>☎ 098-994-6200<br/>TSUTAYA糸満店2件隣</p> <p><b>宮古島市</b><br/>ロータス東和オート<br/>〒906-0012 宮古島市平良字西里894-2<br/>☎ 0980-73-0505<br/>BIG1からメイクマン向け300m右側</p> <p><b>宮古島市</b><br/>(株)エコ・ピット<br/>〒906-0015 宮古島市平良字久貝686-7<br/>☎ 0980-72-2045<br/>ファミリーマート久貝店後ろ</p> <p><b>石垣市</b><br/>ロータス宮良自動車<br/>〒907-0004 石垣市登野城869-5<br/>☎ 0980-82-2216<br/>「あこう木」斜め向かい</p> <p><b>石垣市</b><br/>タイヤハウス マルキュー<br/>〒907-0004 石垣市登野城869-1<br/>☎ 0980-87-5809<br/>タウンプラザかねひで空港向け50m</p> <p><b>石垣市</b><br/>タイヤハウス マルキュー 真栄里店<br/>〒907-0002 石垣市真栄里448-1<br/>☎ 0980-87-7919<br/>八重山保健所西隣</p> <p><b>石垣市</b><br/>(有)アイランドボディサービス<br/>〒907-0002 石垣市真栄里440-15<br/>☎ 0980-82-9039<br/>TSUTAYA 東隣</p> |
|---|--|---|---|

●車検整備を受けられる際には、「こくみん共済 coop〈全労済〉の組合員です」とお申し出ください。●サービス内容は工場によって異なります。詳しくは工場にご確認ください。●電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いにご注意ください。



# お父さん、お母さんが笑顔じゃないと、 子どもたちを笑顔にできない



## ゆめ・みらい基金による支援を受けられた方へ

ゆめ・みらい基金は、仕事や子育てに励みながらも困難を抱えて生活している家庭への支援として「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった働く仲間たちの想いがつまった基金です。

ゆめ・みらい基金での給付と関わっている支援者のサポートを組み合わせることで「働くこと」や「安定した生活が得られ」、子どもたちの「ゆめ・みらい」への1歩につながっていきます。そして、支援を受けた方の生活が安定し「次は支える側へ」という支援の循環を生み出すことが、同じように困難を抱える方を支える“心と心をつなぐ連帯の力”となります。ぜひ、本冊に掲載されている0150運動(定額自動寄付)や〈ろうきん〉・〈こくみん共済coop〉の取り組みを読んでいただき、出来る範囲で“心と心をつなぐ”共助拡大の運動にご参画ください。

## 基金を支援しているみなさまへ

はじめに0150ゆめ・みらい運動への参画をはじめ、日頃より支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。皆様からの心のこもったご支援が、多くの困難な状況の中にいる方々の生活の改善に繋がっています。皆様一人ひとりのできる範囲の協力が、大きな力になり、子ども達の自立への一助となっています。

「子どもは、沖縄の次世代を担う宝です。」

運営事務局として、皆様の想いのこもった本基金を大切に活用し、子どもたちが辛い環境で多くのことを諦めることが無い社会、誰もが夢や希望を持ち、みらいへの可能性を広げられる社会となるよう取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

基金運営事務局 (公財)沖縄県労働者福祉基金協会



うるま市パーソナルサポートセンターへ食料支援



一般社団法人沖縄全通共済会より贈呈式



沖縄県関係職員連合労働組合より贈呈式



沖縄県労働金庫、こくみん共済coop 沖縄推進本部、こくみん共済coop 指定整備工場沖縄県協議会より贈呈式

# 私たちは、子どもの夢と未来を支える取り組みを共にすすめています

## 2021年度団体寄付一覧

マルキ産業労働組合  
 自治労宜野湾市職員労働組合  
 琉球セメント労働組合  
 沖縄電力生活協同組合  
 那覇市会計年度任用等職員労働組合  
 那覇市職員労働組合  
 沖縄県教職員組合国頭支部  
 北部地区労働組合協議会  
 全駐労沖縄地区本部  
 株式会社新崎開発互助会  
 有限会社新京建設互助会  
 ありあけ保育園互助会  
 (公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター  
 北谷町職員労働組合  
 沖縄県教職員組合那覇支部  
 全日本港湾労働組合沖縄地方本部  
 沖縄プラント工業労働組合  
 第一農業労働組合  
 中村敦司法書士事務所互助会  
 沖縄食糧労働組合  
 全糖労久米島製糖支部  
 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合  
 西表島交通労働組合  
 読谷村職員労働組合  
 沖縄県教職員組合  
 沖縄県職員退職者の会  
 社団法人沖縄全通共済会  
 沖縄電力総連  
 自治労うるま市職員労働組合  
 沖縄国際大学事務職員労働組合  
 沖縄県労金労組 浦添普天間支部  
 沖縄都市モノレール労働組合  
 沖縄県労働金庫  
 こくみん共済 coop沖縄推進本部  
 こくみん共済 coop指定整備工場沖縄県協議会  
 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合  
 沖縄市職員労働組合  
 全日本たばこ産業労働組合沖縄支部  
 おきさん労働組合  
 (公社)沖縄県母子寡婦福祉連合会  
 沖縄県勤労者互助会  
 ニライ消防職員協議会  
 全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会  
 労金八重山地区推進委員会  
 沖縄県職連合北部支部

名護市社会福祉協議会  
 労金北部地区推進委員会

## 2022年度 団体寄付一覧

北部労福協  
 全駐労沖縄地区本部  
 こくみん共済coop沖縄推進本部  
 こくみん共済 coop指定整備工場沖縄県協議会  
 連合沖縄那覇・南部地域協議会  
 北部地区労働組合協議会  
 こくみん共済coop沖縄推進本部地区推進委員会  
 全日本港湾労働組合沖縄地方本部  
 那覇市職員労働組合  
 那覇市会計年度任用職員等労働組合  
 沖縄県関係職員連合労働組合  
 一般社団法人沖縄全通共済会  
 沖縄県労働金庫  
 労金北部地区推進委員会  
 運輸労連沖縄県連合会  
 福)大宜味村社会福祉協議会  
 労金八重山地区推進委員会  
 沖縄県勤労者互助会  
 名護市社会福祉協議会互助会  
 琉球セメント労働組合  
 中村敦司法書士事務所互助会  
 沖縄県教職員組合国頭支部  
 沖縄市職員労働組合  
 沖縄電力生活協同組合  
 北谷町職員労働組合  
 読谷村職員労働組合  
 沖縄電力総連  
 沖縄県教職員組合島尻支部  
 ホクトーサービス労働組合  
 沖縄県教職員組合那覇支部  
 沖縄県教職員組合  
 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合  
 (公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター  
 全糖労北部製糖支部  
 全糖労久米島製糖支部  
 沖縄食糧労働組合  
 沖縄プラント工業労働組合  
 全日本たばこ産業労働組合沖縄支部  
 ニライ消防職員協議会  
 全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会  
 沖縄都市モノレール労働組合  
 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合  
 沖縄ヤマト運輸労働組合

全駐労沖縄地区本部退職者の会  
 沖縄県職員退職者の会

## 2023年度 団体寄付一覧 7月末現在

琉球セメント労働組合  
 沖縄県教職員組合国頭支部  
 沖縄電力生活協同組合  
 沖縄電力総連

### 定額自動寄付による支援団体 ※団体名は口座名義で表示しています。

JP労組沖縄地方本部  
 私鉄沖縄県労働組合連合会  
 沖バス労組  
 沖縄県労働金庫労働組合  
 沖縄バス労働組合 共済事業部  
 沖縄電力労働組合  
 沖縄ブルーシール労組  
 県職連合北部支部  
 オリオンビール労働組合  
 高教組 北部支部  
 沖縄県職労宮古支部  
 全糖労宮糖支部  
 全糖労沖縄製糖支部  
 沖教組 宮古支部  
 竹富町職員労働組合  
 全沖縄製糖労働組合石垣島製糖支部  
 全港湾八重山部会  
 沖縄電力八重山分会  
 石垣市職員労働組合  
 自治労石垣市職労  
 沖縄県教職員組合八重山支部  
 八重山地区労金友の会  
 やんばる麦の芽会  
 自治労連宮古島市職員労働組合  
 沖縄県第一次産業関連労働組合連絡会  
 沖縄プラント工業労働組合  
 沖縄県労働金庫共済会  
 那覇市職労 水道支部  
 与那原地区ろうきん友の会  
 イオン琉球労働組合

### 支援団体(預り保育・場所提供)

NPO法人 ファミリーサポート・愛さん会  
 保育すけっと in ナハ  
 宜野湾ナザレン教会

# ろうきん 自動車ローン 無担保

変動金利

- 無担保
- 最高1,000万円
- 最長10年
- 保証料込

年1.0% ~ 年4.8%

※表示金利は2023年8月1日現在のものです。



詳しくはコチラ！



こくみん共済 NEWS

## こくみん共済

4722Z001

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

子育て中のママやパパの声を  
取り入れた共済です。



子育てする  
ママとパパ  
を応援！

0歳から  
加入できる  
お子さまの  
総合保障

子ども 保障タイプ



公式キャラクター  
ビッドくん

月々の掛金 **1,200円**

- ▶ 加入できる方 0歳～満17歳の健康な方
- ▶ 保障期間 最高満18歳の契約満了日まで保障

▼保障内容

入院保障  
日額 **10,000円**  
・交通事故、不慮の事故、病気等  
・入院時諸費用サポート共済金を含む  
・日帰り入院も保障  
・1日目から最高365日分

ケガで通院したとき  
日額 **2,000円**  
・交通事故、不慮の事故  
・1日目から最高90日分

骨折・腱の断裂、  
関節の脱臼をしたとき  
**5万円**  
・交通事故・不慮の事故

子育て世帯を  
サポート！

子ども保障タイプにご加入いただいた方が  
専用ホームページからご利用いただける  
サポートサービスです。

育児のお悩みから進路相談まで、  
子育て・教育のエキスパートが  
メールで直接お答えします。

相談  
無料

こくみん共済  
子ども相談室



お子さまの勉強



ママ・パパの育児

なぜ?なに?  
相談

学習相談

進路相談

集団生活  
でのトラブル

妊娠・出産

離乳食の  
アドバイス

相談スタッフ：  
大学講師、予備校講師など

相談スタッフ：  
保育士、看護師など

専用のホームページアドレスは、ご加入後、共済契約証書送付時にご案内します。

※ここに掲載されている内容は、共済商品の概要を掲載したものです。加入できる年齢・条件、詳しい保障内容などは「ホームページ」「リーフレット」にてご確認ください。こくみん共済 coop までお問い合わせください。

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

沖縄推進本部 (沖縄県共済生活協同組合)

こくみん共済 coop 沖縄

検索



共済ショップ那覇店

那覇市松尾1-18-22

TEL.098-951-2002

共済ショップ中部店

中頭郡北谷町字上勢頭813-3

TEL.098-926-6031

【営業時間】月～金 9:00～17:00

第1・第3土曜日は10:00～16:00(予約優先)  
(第1・第3土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日は休み)

【営業時間】月～金 9:00～17:00

第2・第4土曜日は10:00～16:00(予約優先)  
(第2・第4土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日は休み)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

# 〈0150 ゆめ・みらい運動!〉に ご参画をお願いします!

マルイチゴウマル

〈0150 ゆめ・みらい運動!〉とは、「1人一口50円(月額)の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう!」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

2022年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みにより累計5,666,450円(2022年4月~2023年3月)の寄付がよせられ、2023年3月現在では「9,604口(月額480,200円)」のお申し込みをいただいております。運動に参画いただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「10,000口(月額50万円)」を目標に今後も運動を展開していきます。「10,000口」を達成することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」= 毎月ご希望の寄付額(1口50円とした定額)を、ご指定のろうきん口座から自動振替により基金へ寄付する制度。

**目標 1万口!**  
(月50万円・年間600万円)

達成することで、基金の安定運営と、  
会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう!

単位:人

単位:口



## 各会員・協力団体構成員(組合員・共済会員等)への参画の呼びかけについて



「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく(缶ジュース1本程度の節約で)参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会(総会)議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

(〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉・〈沖縄県労福協〉)のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。



